



敬愛

令和3年10月12日

文責 輿石 信

第11号



「敷島中ホームページ」へ

新チームが始動。若い力が躍動しました。～10/7・9中巨摩新人大会～

秋晴れの下、10/7・9の両日にわたり、中巨摩地区新人大会が各会場で実施されました。3年生引退後、初めての公式大会となりました。今回は、コロナ感染拡大防止の観点から県の部活動ガイドラインに基づき、9月中は校内での練習のみ、10月1日から練習試合が解禁という制限のある取組となりました。

○ 新人チームらしい、爽やかな戦いぶりでした

当日、いくつかの会場で生徒の競技の様子を参観しましたが、新人チームらしい、緊張感と初々しさのある、爽やかな戦いぶりがたくさん見られました。また、真剣な眼差しでボールを追う姿、仲間のミスに「ドンマイ」と温かい声をかけたり、チームのピンチに大きな声を出し士気を高めたりする姿に、一体感を感じるとともに、スポーツのもつ良さを改めて感じました。

○ 主な結果です

主な結果としては、男子バスケットボール部：第1位、ソフトボール部：第1位、男子バレーボール部：第2位、女子バスケットボール部：第2位、剣道部：男子団体第2位、女子団体第3位、女子ソフトテニス部：団体第3位をはじめ、陸上、アーチェリー、柔道、剣道、ソフトテニスでは個人での活躍も多く見られました。結果、多くの部が10月末からの県大会の出場権を獲得することができました。（詳細は学校HPにあります。右上のバーコードをご利用ください）



（新人大会激励会・男子バスケット部）

○ 振り返りを大切に

現在、中間テストのため活動が休止となっていますが、各自が大会を振り返り、自分のできたこと、できなかったことを整理してみてください。学校だより第5号（6/25・支部総体まとめ）でも触れましたが、できなかったことは、その原因を考え、「できなかった」を「できる」に変えていく方法や取組を考え、日々の部活動の中で地道に実行してください。そして、部活動を通して、自分と向き合い、自己を成長させていってほしいと思います。



（新人大会激励会・ソフトボール部）

「全国学力・学習状況調査」から見られる本校生徒の状況です。 [詳細は学校HPで。](#)

（※この調査は、全国の中学校3年生を対象に文科省が毎年実施しているもので、国語と数学の2教科のテストとアンケート調査により、子どもたちの学力や学習の状況を把握し、改善につなげるために行っています）

■結果の概要

- ・国語・数学とも、全国と比較して正答率が高いことから基礎的な知識や技能が身に付いており、無解答率も低いことから難しい問題にも粘り強く取り組もうとする姿勢がみられます。また、国語の結果からは「自分の考えを表現すること」に苦手意識をもっている傾向が見られます。
- ・質問紙調査では、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「自分で計画を立てて勉強をしていますか」「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか」等が、全国に比べ数値が高いです。
- ・「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じ時刻に寝ていますか、起きていますか」等で、「あまりしていない」「全くしていない」と回答した生徒の割合が全国に比べて若干高くなっています。

■学校としての取組

- ・作文など自分の考えや経験を生かして文章にまとめる活動を授業に取り入れていきます。
- ・難しい問題にも粘り強く取り組めるので、授業で様々な問題に触れられるようにし、仲間と協力して答えを導き出すような、グループやペアの活動を取り入れていきます。
- ・「家庭学習プランニングシート」を活用し、規則正しい生活が送れるよう指導していきます。

■家庭へのお願い

- ・規則正しい生活（食事・睡眠等）が心身の健康や学習等の諸活動に対する意欲の向上につながります。子どもたちが規則正しい生活が意識できるよう、声をかけてください。